

MILKYWAVE Jazz Live 2017

堤 智恵子

--- TSUTSUMI CHIEKO QUARTET ---

堤 智恵子(Sax) 中島明子(Pf・Vo) 箭島裕治(B) 服部正美(Ds)



■ 堤 智恵子 (つつみ ちえこ)

東京音楽大学(サックス科)在学中に形式美を追求する堅苦しいクラシックとは異なり、自由に自己表現ができるジャズの魅力にとりつかれ、土岐英史氏に師事し奏法、理論などを学ぶ。多くのベテランプレーヤーとのセッションで一定の評価を得た後、1994年、今田勝氏(ピアノ)率いる“今田勝&NOWIN”に抜擢れ、本格的にプロ活動を開始。1999年発表の1stアルバム、『ノアリング・フェザー』に続き、オリジナルアルバム『タイニーポケット』、『イーイヤプランカ』3作品を発表。2006年には初のカバーアルバム、『みずいろの雨』をリリース。

2008年、株式会社サンフォニックスへの所属と同時に5thアルバム『MOIRANGO E MOIRANGA』(苗とかほぢや)、2009年12月に初のジャズスタンダードアルバム『Someone to watch over me』を発売。これまでに発表されたオリジナルやカバー曲は、多くの聴衆の心をとらえお気に入りの曲をいくつかするファンも多い。なかでも“Peace of mind”(癒れたサラーマンに贈る曲)は多くの中高年サラーマンから支持されている。現在、首都圏のライブハウスを中心に活動し、リーダーライブ以外でもつのだ☆ひろ、今田あきらエバークレイズ等に参加するなど、1月に20日あまりのライブ出演という超多忙ぶりである。ライブハウスのブッキング担当者にとりてレギュラー出演メンバーとして欠かせない存在となっている。

最近の出来事としては、2008年9月、今田勝氏等と共にウズベキスタン、バリの演奏旅行(国際交流基金・文化芸術交流)に参加。2009年7月、巨匠 前田憲男氏からのオファーにより銀座スウィングシティにおいてセッションライブを開演。8月には日本ジャズ界を代表するメンバーとして“サマージャズレボリューション”に参加し、その卓越した演奏技術に多くの取材依頼や新たなファンを獲得している。その他、地方の音楽イベント、NHKFM1(セッション2008)、フジポッド等活動は多岐に及ぶ。また、創造学園大学、つのだ☆ひろ world music schoolなどにおいて未来のアーティストを目指す方々へこれまでに培ったテクニックや経験を惜しみなく披露、指導者としての評価も高まっている。(〆)

“Anime Jazz” 好評発売中!!



2017年 12月 2日(土)

開場 18:00 / 開演 19:00

前売 ¥3,500 ・ 当日 ¥4,000

(いずれも1ドリンク・税込みの金額です)

■ 前売チケットあります ■ 電話での予約も承っております ■ 当日はお食事も出来ます ■ 詳しくはスタッフまで

お問い合わせ: ミルキーウェイブ 川越市志多町17-2 049-222-1101

..... MILKYWAVE 営業時間 / Open 11:00 AM. ~ Close 10:00 P.M. 定休日 / 月曜日(祭日除)



■堤 智恵子 (つつみ ちえこ) - Sax -

10月24日生 出身:埼玉県大宮市

東京音楽大学在学中にJAZZに目覚め、土岐英史氏に師事。その後数々のセッションに参加する。

1994年、ジャズピアニスト今田勝氏率いる今田勝&NOWINのメンバーとして本格的にプロ活動を始める。

1999年、1stアルバム『Morning Paper』をリリース。引き続き『Tiny Pocket』、『イートアップカ』を発表。

2006年には初のカバーアルバム『みずいろの雨』をリリース。

2008年9月、今田勝氏のバンドウズベキスタン、パリの演奏旅行(国際交流基金・文化芸術交流)に参加。

2008年10月、初のライブコーディング『MORANGO E MORANGA』(イチゴとかぼちゃ)が株式会社サンフォニクスより発売される。

現在、自己のグループ、つのだ☆ひろグループ、今田あきこバークレイズなど数々のバンド等で首都圏のライブハウスを中心に精力的な活動を展開。幅広い年齢層から支持され、今後の活動が期待される。

また、株式会社サンフォニクスへの所属により、これまでこない新たな”堤ワールド”の創出に意欲を燃やしている。

創造学園大学、つのだ☆ひろ world music schoolなどにおいて、未来のアーティストを目指す方々へこれまで培ったテクニックや経験を惜しみなく披露、指導者としての評価も高まっている。

■中島明子 (なかしま あきこ) - Piano・Vocal -

山梨県生まれ。3歳よりクラシックピアノを習い、12歳よりバレエも並行して習ったことが、その後の音楽性に多大な影響を与える。中学一年の時には山梨県小中学校作曲コンクールで最優秀賞を受賞するなど、幼い頃から音楽の才能を発揮。私立山梨英和高校を経て、専修大学法学部法律学科へ入学。同時にジャズサークルの「M」Aブルーコーリアリに入部し、4年間ピアノに没頭。卒業後そのままピアニストとしての活動を開始。当初ピアノのみの活動であったが、弾き語りをはじめたところ好評を博し、ピアノ・歌という現在のスタイルを確立する。2000年に自己のピアノトリオ『TRIOGRAFIKA(トリオグラフィ)』を結成、アルバム『The Sound Of TRIOGRAFIKA』を自主制作。2004年には1stアルバム『音の葉』をキャスネットよりリリース。ピアノ、歌のみならず作編曲にもその才能を発揮しており、2005年～2006年にかけて中央アート出版社よりジャズ弾き語り、ジャズボーカルのCD付教則本を9冊発売。ピアノレッスンにも定評がある。モットーは自己の音の追求。



■箭島裕治 (やじま ゆうじ) - Bass -

1973年大阪府生まれ。4歳でピアノ、5歳でヴァイオリンを始め、9歳から10歳までの間に相愛大学附属音楽教室にて楽典の基礎を身につける。上京後、16歳で初めエレキベースを手にする。18歳で6弦ベースに転向。

慶應義塾大学在学中よりスタジオワーク、ジャズ系のライブなどを中心にプロ活動を開始。

2000年に林正樹 (pn.)、岩瀬立飛 (drs.)と共にジャズピアノトリオ「宴(ウチヰ)」を結成、2006年までに3枚のアルバムをリリースしている。2011年にはヴォーカリスト三科かを以てのゴスペルユニット「Amakha(アマカ)」を始動、2013年に野呂一生 (gt.)、大高美清 (org.)ら超豪華ゲストを迎えた1stミニアルバム『Future Gold』をリリース。翌々2015年には三科の圧倒的な歌唱力と西直樹 (pn.)、岩瀬立飛 (drs.)らトップミュージシャン達のプレイをフィーチャーした2ndミニアルバム『Glorious Thing』をリリースしている。

■服部正美 (はっとり まさみ) - Drums -

川越在住

ブラジリアングループを追求して30数年。ドラム、パーカッション、ヴォーカルを担当。作詞作曲、プロデューサー。

堤智恵子ディスコグラフィ

